

第4回 清瀬駅南口地域児童館整備基本計画策定検討委員会 議事要旨

1 開催概要

- 日時 : 令和3年11月29日(月) 18:30~19:30
- 場所 : 市役所本庁舎 研修室1~3
- 出席者 : 18名

委員	学識経験を有する者	<ul style="list-style-type: none"> ・星野 泉 委員長 (明治大学政治経済学部 教授) ・有村 大士 副委員長 (日本社会事業大学社会福祉学部福祉援助学科 准教授)
	一般公募による市民	<ul style="list-style-type: none"> ・花岡 沙奈恵 委員 ・古谷 康予 委員
	市長が必要と認める者	<ul style="list-style-type: none"> ・齊藤 しのぶ 委員 (清瀬市青少年問題協議会第二地区委員会 会長) ・齊藤 公裕 委員 (清瀬第三小学校 PTA 会長) ・芹沢 正男 委員 (清瀬市みどりのサポーター) ・紺野 里美 委員 (松山2丁目 真和会 会長) ・春日 允子 委員 (清瀬市保育所父母の会連絡協議会) ※オンライン参加
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今村統括監 企画部長 ・戸野企画課長 ・牛木企画調整担当主事 ・金子水と緑と公園課長 ・伊藤図書館長 	
運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・パシフィックコンサルタンツ株式会社 4名 	

(欠席者: 小苺米 清弘 委員)

- 傍聴者 : 5名
- 配布資料
 - ・ 次第
 - ・ 資料1 : 清瀬駅南口地域児童館・中央図書館等複合施設及び中央公園整備基本計画(案)

2 決定事項

- ・ 資料 1 について追加の意見がある場合は、12/3（金）までに企画課に連絡をお願いする。

3 議事要旨

1. 開会

- (委員長) 第 4 回 清瀬駅南口地域児童館整備基本計画策定検討委員会を開会する。
- (事務局) 事務局出席者の紹介、次第・配布資料の確認。
- (事務局) 事前送付が遅くなってしまったため、資料 1 について本日はあくまで意見以外に追加の意見がある場合は、12/3（金）までに企画課に連絡をお願いする。

2. 基本計画（案）について（資料 1）

- (委員長) 質問・意見はあるか。
- (委員) 「子どもが中心に、だれもが」使いやすいことが最も大事であり、「子どもを中心に」という言葉を入れてもらい、ありがたく思う。今後の詳細な設計は、市に委ねていくことになるが、子どもを中心に利用しやすく、子どもとともに大人も成長していける施設になってほしい。運営を指定管理者が担っていくのは、これからの時代致し方ないと思うが、市のバックアップがあってこそ、適切な運営ができると思うので、これからも行政が変わらず児童館に関わっていくこと、支えていくことをお願いしたい。一市民として、本検討委員会で関わった者として、複合施設を見守り、一緒に育てていきたい。
- (委員) 既存の市内の児童館は、指定管理者が運営している。私は、都内の指定管理者制度を導入した学童保育で職員として仕事をしており、複数の拠点に手伝いに行くことがあるが、子どもに関わるプロの会社であっても、子どもに対する姿勢や運営サービスが完全に行き届いているわけではないと感じる。p37「子どもを中心とした市民が利用し、運営に積極的に参画してもらうことを念頭に置き」という表記について、指定管理者をどのように選定していくかは今後の検討になると思うが、計画の中で定めた「子どもを中心に」という方針が守られていくのかを懸念している。決められたことをその通りに実施するのみではなく、子どもたちや市民と日々丁寧に向き合う姿勢をもって、業務に取り組んでほしい。また、投書や FAX 等を通じて意見を述べることはできるが、本検討委員会のような一市民や専門家が意見をできる場、市民参加型で継続して意見を伝えられる場を設け、市や指定管理者にとどまらず、市民が積極的に参画できるようにしてほしい。本事業では、子どもたちの意見も幅広く取り入れていくということであったが、ジュニアリーダーズクラブ参加者のみでなく、様々な立場の方々が意見を伝えられ、アイデアを提案していけるような機会を（可能であれば謝礼が発生するような形で）設けることも案の 1 つと考える。市民の方々が自身の興味・関心にあわせて、新たな児童館・公園・図書館に関われる機会を大切に、今後の検討・整備を推進してもらいたい。意見を伝えられる機会があれば、どのような指定管理者が選定されたとしても、利用者として安心である。
- (事務局) 第 3 者評価を実施し、定期的に運営のチェックを行う、利用者アンケートを踏まえて日々ブラッシュアップしていくなどにより、指定管理者との関係づくりを行っており、本事業においても同様に取り組んでいく。また、「（仮称）ジュニアスタッフ委員会」という固定メンバーにとどまらず、周辺の小・中学生等の意見を常に取り入れられる形を構築し、日々成長していける複合施設を

目指していきたい。具体については、今後検討していく。

- (委員) 基本的な事項は、計画の中に組み込まれていると感じる。これまでの本検討委員会で出た意見のうち水に親しめる空間については、今後詳細を検討していくことになるかと理解している。節目ごとに情報を開示いただき、皆様と議論していきたい。私は、本検討委員会にPTAとして参加しており、保護者を対象とした本事業に関する情報の周知の方法について検討しているところである。HPをはじめ、“ここを見れば本事業の検討経緯が分かるようなツール”を活用して情報を周知し、知っていただきたいと考えている。新たな児童館・図書館・公園を皆でつくりあげていきたい。
- (委員) 「チェーン展開しているカフェやキッチンカーの出店等」を検討していると記載があるが、「ベーカリーショップどんぐり」等、市内の事業所の販売会等の実施も検討してほしい。
- (委員) ころぼっくるにおいては、ジュニアリーダーズクラブのほか、青少年委員や地域の方々が企画等に携わっている。市内には、PTAをはじめ、小・中学校、幼稚園、保育園の保護者や地域の方々等で構成する様々な組織が存在する。それらの組織が、何らかの形で新たな児童館に関わっていけるとよいと感じた。
- (委員長) 子どもも大人も、地域一体で新施設を盛り立てていけるような仕組みづくりについて、今後議論・検討していけるとよい。
- (委員) 松山出張所が廃止されるという話を聞いた。大変不便になるため、出張所機能を新施設の一画に導入することは難しいか。
- (事務局) 「松山地域市民センター」として施設は残存するが、出張所機能は廃止に向けて議論を進めている。現在、マイナンバーカードを利用すると、コンビニ等でいつでも住民票を取得することができるようになってきている。そのような仕組みを活用しながら市民サービスを続けていくということが、市の考えである。意見として頂戴する。
- (委員) ひとつお読みですが、何も言うことはない。
- (委員長) 複合施設を整備する場所、屋上テラスの活用や水に親しめる空間の整備等、これまで出された意見が反映されており、面白くなりそうと感じる。
- (委員) 非常に分かりやすい計画となり、感謝する。現在の中央公園の遊具について、子どもの年齢（中央図書館側：幼児向け／北側：小・中学生向け）にあわせて、分けて設置されている点が非常によいと思っている。北側配置案を見ると、遊具のスペースが2箇所描かれている。現在の中央公園と同様に配置することで棲み分けがなされ、事故を未然に防ぐことが可能となるため、親としても安全・安心に子どもを遊ばせられると感じた。また、指定管理者の導入にあたっては、「子どもを中心に」という点を前提として、仮に市民から懸念を抱くような意見があった際には、即時に対応できる体制を構築してほしい。
- (事務局) 現在の中央公園は、中央図書館側にスプリング遊具やブランコ等の幼児用遊具がある。新たな中央公園の棲み分けとして、幼児が遊べる遊具のあるスペース、小・中学生が走り回れるスペースが必要と感じている。北側配置案においては、複合施設側に児童向け遊具を設置、既存の中央図書館側に多目的広場を配置することを検討している。オープンスペースは、イベントや夏祭り等で使用できればと考えている。

3. その他

- (事務局) 本日の意見、12/3（金）までにいただく意見を踏まえ、基本計画（案）としてとりまとめる。

また、資料 1 p48 に記載のとおり、来年 1 月にパブリックコメント・市民説明会を実施し、市民の皆様から幅広く意見をうかがう予定である。加えて、p49 に記載のとおり、パブリックコメント中に、小・中学生から意見聴取を行いたいと考えている。様々な場面で幅広く意見をうかがい、来年 3 月に「清瀬駅南口地域児童館・中央図書館等複合施設及び中央公園整備基本計画」を策定予定である。

4. 閉会

(事務局)

コロナ禍にも関わらず、8 月から約 3 ヶ月にわたり、計 4 回の会議において活発な意見をいただき、感謝する。基本計画（案）として、よいものをまとめることができたと感じている。今後、パブリックコメントや小・中学生との意見聴取を経て、来年 3 月に「清瀬駅南口地域児童館・中央図書館等複合施設及び中央公園整備基本計画」を策定予定である。来年度以降は、いよいよ設計の段階となる。市の公共施設に関する方針に基づき、延床面積を広げることができない中で、小さな施設になってしまうのではないかと心配もあると思う。しかし、中央公園との一体整備という形で、児童館・図書館の壁をあまりつくることなく、皆様に喜んでいただける施設になるとよいと考えている。設計段階においても、設計者はもとより、市民の皆様から意見・知恵をいただき、よい施設にしていきたい。また、運営においても、本日いただいた意見を反映していきたい。子どもたちを含めた市民参画について、基本計画に記載している内容をベースとして組み立てていきたいと考える。本検討委員会は、新たな児童館・図書館・公園の整備の検討ということで、我々企画部門のほか、図書館長、水と緑と公園課長が参加してきた。よく言われる縦割りの弊害を取り払い、新しい施設として、今までにない施設をつくってきたい。皆様には引き続き、様々な場面で協力・支援をいただきたい。

(委員長)

厳しい条件がある中で、新たな複合施設として、市の中でも非常に重要な、期待の持てる施設を整備できると思う。子どもたちの意見を取り入れ、市民とともに歩んでいけるよう、今後検討を進めていってほしい。委員の皆様にも見守っていただき、意見等をお願いする。第 4 回清瀬駅南口地域児童館整備基本計画策定委員会を閉会する。

以上